

平成 23 年度高教研情報部会 研究発表大会

日時：平成 23 年 11 月 8 日（火）13：30～  
場所：富山県総合教育センター 382 研修室

- ・開会の挨拶（部会長 富山県立志貴野高等学校 伊東 眞 校長）
  - 「iPhone」や「iPad」などの情報端末の小型化
  - 今後ますます普及を見せるだろう
  - 我々も授業などにどんどん取り入れていかなければならないだろう
  
- ・研究発表 I
  - 「総合学科における情報 C の取り組み」富山県立富山いずみ高等学校 林 大作教諭
  - 学校の様子（校時や、カリキュラムなど）
  - 総合学科での授業・・・「自然・情報系列」での授業、TT による授業、各学期の内容（例「社会問題プレゼン」 70 のテーマから生徒が選択）
  - 質疑応答
    - 評価について→生徒による評価もあるが、成績に反映するのは教員のもの
    - ムービーメーカーについて→Vista では標準装備、Windows 7 はダウンロード
    - 素材は生徒が準備（著作権の指導にもなる）
    - フォトムービーについて→3 学期の学期間を使っている、提出期限を設け、放課後あるいは始業前の時間も PC 室を解放
  
- ・研究発表 II
  - 「情報 C の授業の取り組みについて」富山県立新湊高等学校 片岡 留美教諭
  - 年度初めに「キーボードマスター」というソフトを使ってキーボードの指使いに慣れる→PC 操作のスキルは年々上昇しているが「できる」「できない」という生徒の差が広がっていると感じている
  - 情報モラル、セキュリティについて・・・4, 5 月にサイバー犯罪について指導をするが、1 回だけでは徹底しないので何回も繰り返す
  - 授業について・・・「著作権」に関するクイズを生徒が作成、プレゼンではグループで「科学偉人伝」というテーマで発表している、表計算ソフトの利用など
  - 質疑応答
    - 表計算ソフトを扱う時間について→題材は与えるので 1, 2 時間
    - ポスター作成について→実際にプリントアウトはせず、モニターで表示
    - 作成にかかる時間は 7 時間程度（分析、企画、ソフトの説明、作成、提示）、扱うソフトは「フォトショッ  
プ」
  
- ・全国大会（第 4 回全国高等学校情報教育研究大会）参加報告
  - 富山県立志貴野高等学校 柴田 良人教諭
  - 全国から 250 名余の参加
  - 「情報科学」とは活用するための基礎である
  - 講演で CS アンプラグドの説明（例 点を数えるについて（2 進数）、カード交換の手品）
  - ポスターセッション・・・アルゴリズム体験ゲーム
  - 分科会は 23 名の発表

・地区別協議

4 地区に分かれて各学校の現状や課題について協議・検討し、各地区ごとに報告

・指導助言

富山県教育委員会県立学校課 野崎 悟指導主事

グループウェアについて→すべての県立学校に導入

各校の校内PCのウィルス被害について

研究発表について

富山いずみ・・・「情報モラル」を身につけさせる指導が大切その上で年度当初、  
各学期の始めに押さえられている、内容の濃い授業である

新湊・・・オリエンテーションの実施、ソフトを使っての正しい指使い、「砂漠で  
の遭難」や「著作権クイズ」など興味深い授業内容、情報モラルの徹底  
全国大会参加報告について

先進的な指導、アルゴリズム、H25の新カリキュラムに向けて参考になる  
学校訪問について

新カリキュラムについて

7/13 文科省での話により「同一学年」、「生徒選択」が望ましい→無理であれば  
県教委と相談

総則に「情報能力活用」とあり、他教科との協力

・質疑応答 特になし